

大阪湾漁場環境速報

2020年 3月 5日発行
兵庫のり研究所

キートセロスを主体として数種の小型珪藻が地点により発生量に大小ありますが、海峡部（明石・紀淡）周辺や淡路沿岸の一部を除き湾全般に確認されます。陸水等の影響を受けていた地点以外で、これら珪藻が多かった海域の表層において栄養塩（窒素・リンとも）が大きく減少しています。

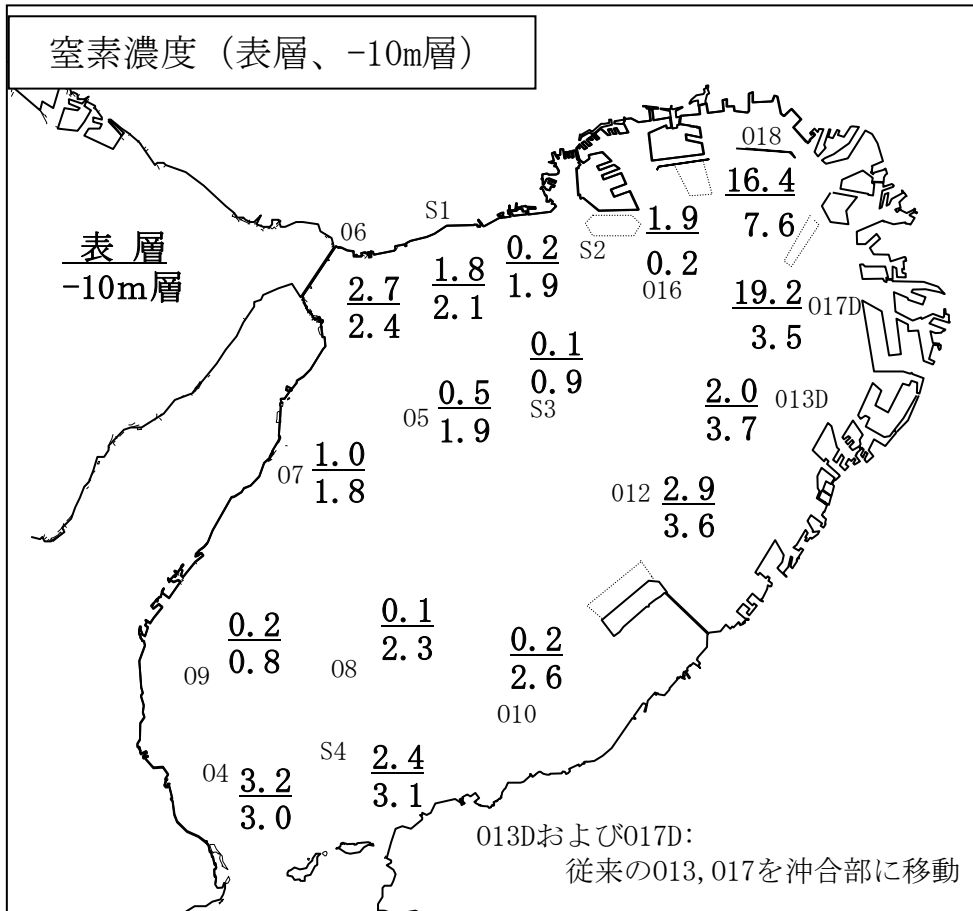
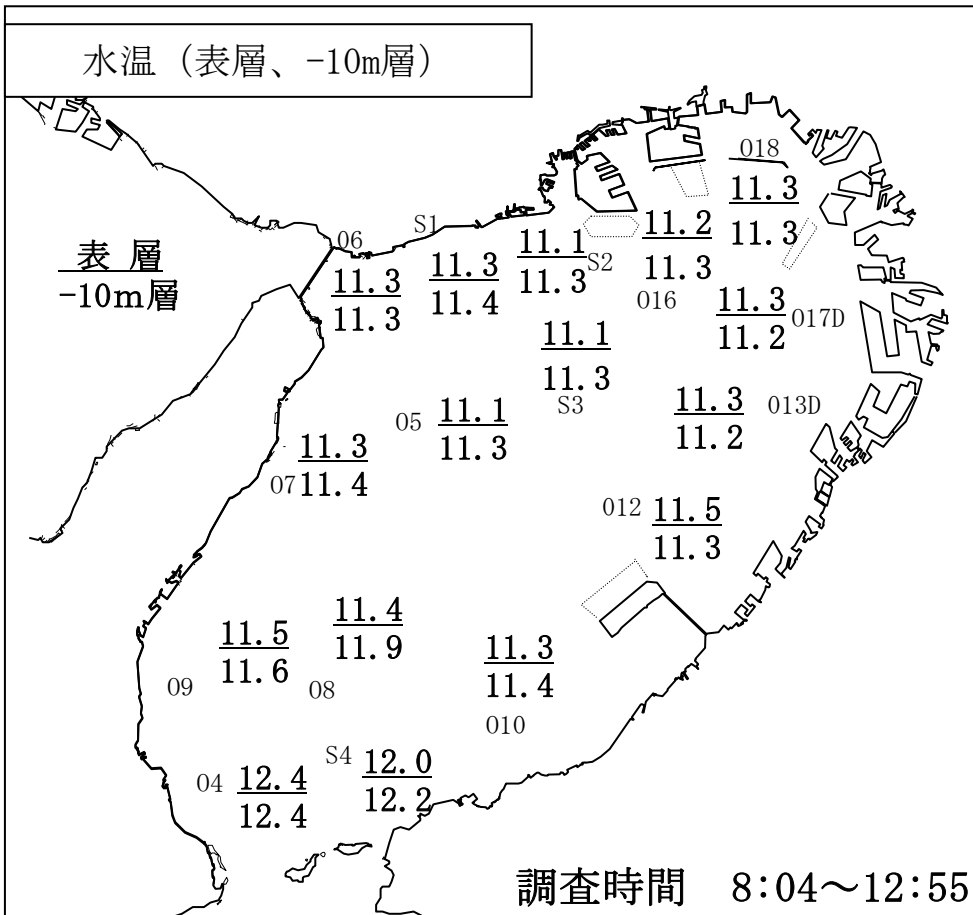
(水温) 表層は湾内11~12℃台で、平均11.4℃。平年比約1.4℃高い。
-10m層は平均11.6℃（平年比+1.6℃）。

(塩分) 表層平均31.68psu(平年 31.26)。-10m層平均32.28psu(平年 32.00)。

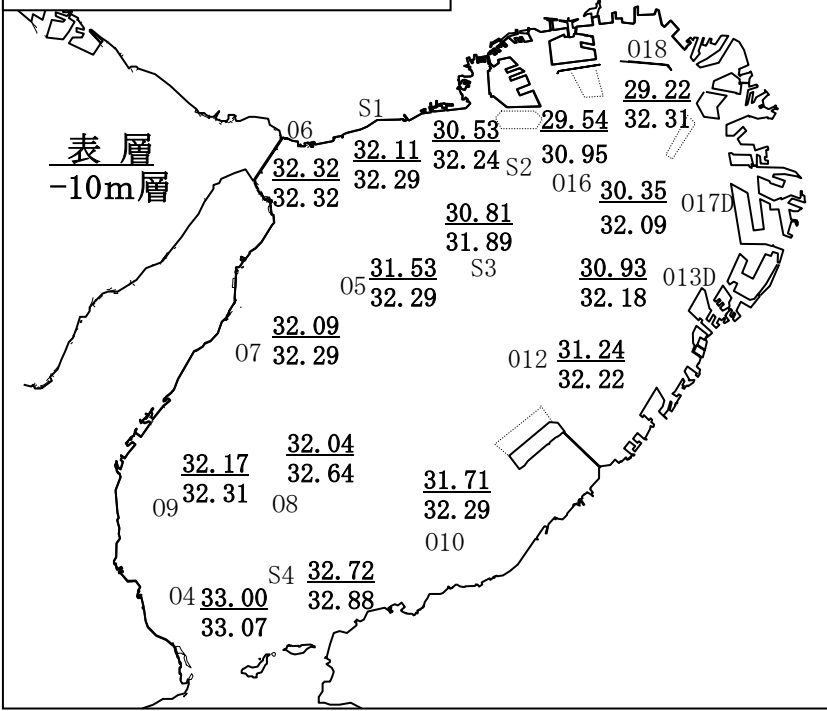
(栄養塩、他) 珪藻はスケルトネマやタラシオシラ・ニッチアが見られ、特にキートセロスが湾奥を中心にかなり多く、和田岬前や神戸沖・関西空港南から志筑沖まで多く発生しており、広範囲に亘り赤潮として確認された。これらの地点において、表層の窒素は1μg-at/L以下となっておりリンも大きく低下した値であった。また、-10m層でも同種の珪藻がやや多く見られた地点もあり、-10m層の窒素は概ね2μg-at/L前後と全般に低い状況であった。

上段 (今回値)	2020年 3月 4日調査
中段 (昨年値)	2019年 3月 4日調査
下段 (平年値)	3月上旬

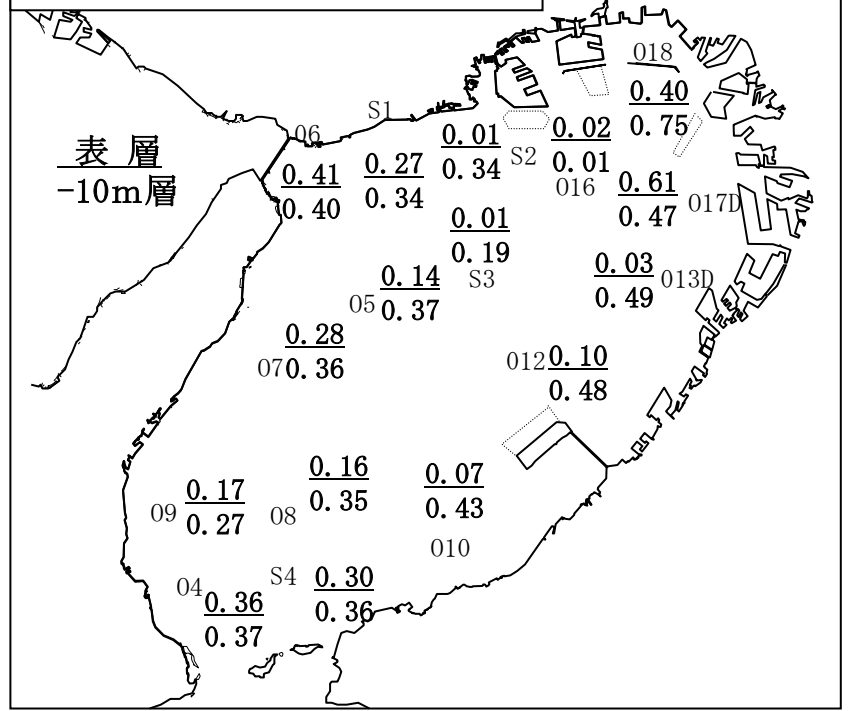
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	リン酸 (μg-at/L)
04	12.4	33.00	3.2	0.36
	12.4	33.20	2.9	0.25
	10.9	32.53	3.4	0.32
05	11.1	31.53	0.5	0.14
	11.0	32.06	1.4	0.15
	9.8	31.74	2.1	0.23
06	11.3	32.32	2.7	0.41
	11.0	32.28	3.1	0.29
	9.8	31.51	2.7	0.25
07	11.3	32.09	1.0	0.28
	10.9	32.01	0.8	0.09
	10.0	31.64	2.8	0.26
08	11.4	32.04	0.1	0.16
	11.1	32.20	0.7	0.10
	10.2	31.78	1.6	0.20
09	11.5	32.17	0.2	0.17
	11.2	32.27	0.7	0.08
	10.1	31.73	2.0	0.21
010	11.3	31.71	0.2	0.07
	11.1	31.78	0.5	0.05
	9.9	31.46	1.5	0.15
012	11.5	31.24	2.9	0.10
	11.0	31.60	0.4	0.06
	9.8	30.79	3.0	0.17
013D	11.3	30.93	2.0	0.03
	11.3	31.72	3.3	0.09
	9.6	30.21	4.6	0.18
016	11.2	29.54	1.9	0.02
	10.9	30.33	3.3	0.08
	9.8	28.99	8.8	0.26
017D	11.3	30.35	19.2	0.61
	11.1	30.28	15.5	0.36
	9.8	28.30	20.9	0.58
018	11.3	29.22	16.4	0.40
	11.1	29.11	9.2	0.10
	10.0	23.07	30.2	0.89
S1	11.3	32.11	1.8	0.27
	10.9	31.69	1.6	0.11
	9.8	30.74	2.5	0.20
S2	11.1	30.53	0.2	0.01
	10.8	30.65	3.8	0.09
	9.7	29.92	4.3	0.19
S3	11.1	30.81	0.1	0.01
	10.9	31.45	0.8	0.07
	10.0	31.08	3.6	0.28
S4	12.0	32.72	2.4	0.30
	12.5	33.22	3.1	0.27
	10.9	32.46	2.9	0.28



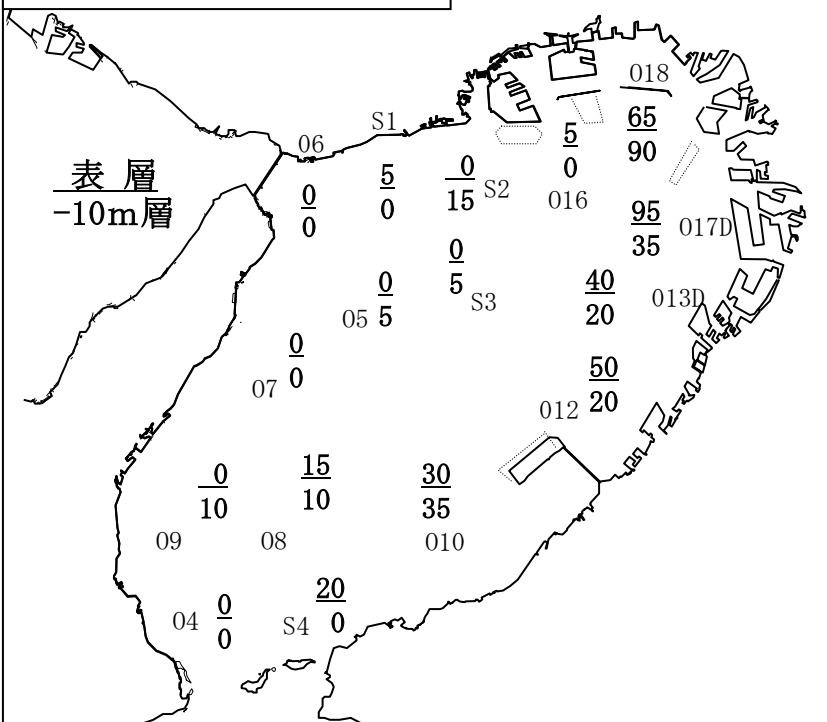
塩分 (表層、-10m層)



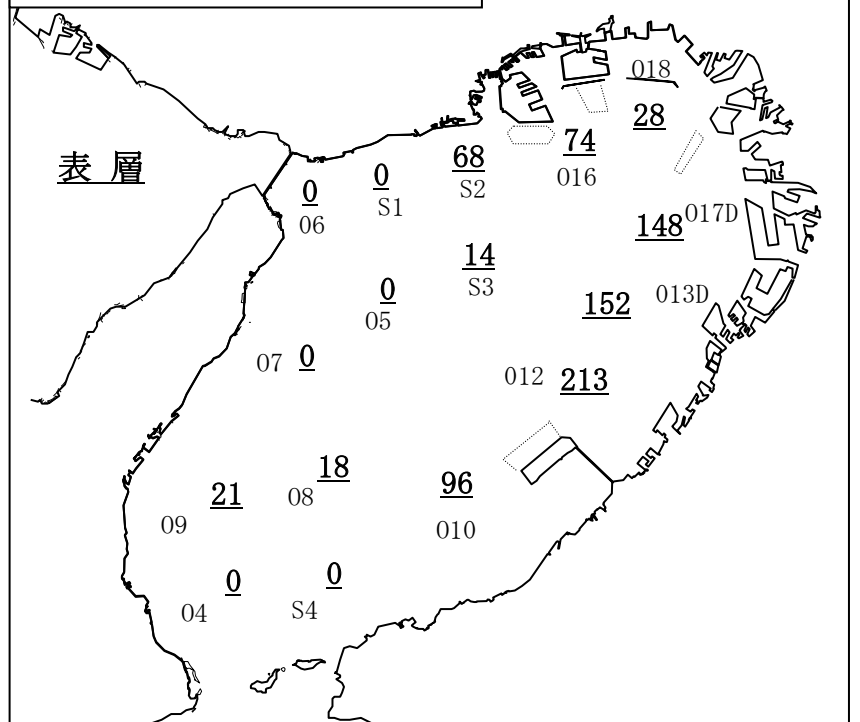
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスク (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

